

## 大分岡病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	Learning curve と合併症でみる直視下 MICS-AVR と完全内視鏡下 AVR のメリットデメリット
当院の研究責任者 (所属)	迫 秀則 (心臓血管外科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	当院では 2013 年から右肋間小開胸による直視下 MICS-AVR (低侵襲の大動脈弁置換術) を 60 例行い、その後完全内視鏡下 AVR へ移行し、2024 年 8 月までに 57 例を行ってきました。現在の方法に至るまでに経験した合併症、手術手技の改善について報告します。
調査データ 該当期間	2013 年から右肋間小開胸による直視下 MICS-AVR を行った 60 例、その後完全内視鏡下 AVR を 2024 年 8 月までに行った 57 例の患者さんを調査の対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	直視下と内視鏡下手術症例の大動脈遮断時間、体外循環時間、手術時間の learning curve を比較した。また各々で合併症の時期と内容を検討します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：(代表) 097-522-3131 担当者：心臓血管外科 迫 秀則
備考	研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。